

中央公民館講座案内

【申し込み・問い合わせ】 中央公民館 電話45-8446

対象者	町内在住者または在勤者 ※受講希望者が5名以内のときは、開講しない場合があります。
申し込み	12月2日(月)8時30分より、中央公民館窓口または電話で申し込んでください。

○マジック教室 定員：10組 親子体験	
とき	12月14日(出) 10時から12時
持ち物	筆記用具
費用	500円
講師	ブラックサタン

○料理教室 ～パスタ料理 2種類 デザート：サバイオーネ～ 定員：10名	
とき	1月15日(水) 10時から12時
持ち物	エプロン、三角巾、フキン、タッパー
費用	材料費 2,000円 (1月7日以降のキャンセルについては材料費がかかります。)
講師	小林 深志 先生

○スマートフォン・タブレット教室 ～基礎編～ 定員：6名	
とき	1月15日・22日・29日 水曜日 10時から12時 (全3回)
持ち物	スマートフォンまたはタブレット、充電器、スリッパ、筆記用具
費用	テキスト代 1,100円 (初めての方、昨年以前に受講の方)
講師	西原 恭子 先生

個別最適な学びと協働

先日(令和6年10月31日)の信濃毎日新聞の1面に、軽井沢町が「学びの多様な学校」・「夜間中学」・「両方の学校の併設」を検討している、という報道がありました。名称を「軽井沢オープンドスクール」とし、不登校の生徒、未就学者や外国籍の人の学びの場を作っていく、というものです。

町内の不登校児童生徒は令和5年度に96人、成人を含めた未就学者と中学校を卒業していない人は、令和2年度の国勢調査で合計205人に上っています。様々な事情があつて、学びが途絶えたままになっている人達が、希望をもってそれぞれの学びに向き合えるように、町・県・国と一緒に検討をすすめていきます。

どんなカリキュラムなのか、どんな内容の学びを行っていくのか、ということとは、



これから考えていくことになりませんが、私たちのイメージする、「先生が教壇に立ち、生徒が静かに聞いている一斉授業」だけではなく、一人ひとりのニーズを把握したうえで、学びや工夫が行われるようになっていくのでしよう。また、それぞれの興味や関心、キャリア形成の方向性に応じて、自分の好きなことや楽しいと思うことに徹底的に没頭し、追求するような「個別最適な学び」も実現していくのではないかと考えられます。

こう記すと、「自分の好きなことだけやって学び？」と疑問に思う方もいらっしゃるかもしれませんが、自分の興味・関心のあることを通じて、学びを継続しながら、学べべきことを学ぶ方法は、積極的に知識を吸収していく有効な方法の一つだと言えます。また、そうして学んでいる人が身近にいることで、自分の学びを振り返ったり、ブラッシュアップさせていくことにもつながります。学ぶ仲間同士が、お互いに影響し合うことができるのです。

こういった学び合いは、社会に出ていく中でとても大切な「協働」というスキルを磨くことに繋がっています。

協働の定義とすると「異なる専門性を持つ者が、それぞれのスキルを活かして、限られた時間の中で、一つの課題について向き合い解決していく」ということになります。「協働」は、「みんな同じ」では成り立っていきません。

日常生活を送る上での基本的な学習スキルは必要ですが、計算にしろ、漢字変換にしろ、手元のスマホに頼ってしまうことは、誰にでも身に覚えのあることです。また、AいやチャットGPTが我々の生活にとって身近なものになってきていることも確かです。

新しい学びについては、様々な意見や見方、それぞれ多様な視点からの検討が行われていくことでしょう。「学校ってなんのためにあるの?」「なんで勉強するの?」。そんなシンプルな質問に立ち返りながら、軽井沢での学びの可能性が広がっていくといいですね。

過去の「こころぼ」は町ホームページからご覧になれます。